



平成28年度 外国語活動・外国語研修会

平成28年7月26日（火）実施

目的 小学校外国語活動の更なる推進をめざし、学校が組織として取り組むとともに、指導内容や指導方法について研修を深め、授業実践力を高める。さらに、中学校英語教育への円滑な移行や連携の在り方について学ぶ。

【実践発表】—これからの外国語活動を見据えて—

「小学校外国語活動の授業づくりのポイント」

第四小学校 南 博子 教諭

～授業づくりはつながりを大切に！～

- ・ 単元全体の流れと一時間の授業のつながりを意識

(授業の基本の流れ)

Greeting→Song→Review→Goal→Activity→Comment→Greeting
(1,2)

- ・ **実践的なコミュニケーション、他教科や人と人、外国(社会)とのつながりを意識して単元を構成する**
- ・ 中学校へ学びを無理なくつなげる
- ～日々の授業で意識すること～
- ・ 子どものモチベーションを高めるために**必然性のある場面やゴールを設定する**
- ・ クラスルームイングリッシュを使い、褒める
- ・ 子どもどうしのやりとりや、コミュニケーションの場を多く設定する
- ・ 掲示物や板書は、**意図やねらいをもって行う**

考えなしの掲示物や板書は子どもたちを惑わせてしまいます。

「中学校入門期における外国語指導について」

旭中学校 田岡 綾 教諭

～入門期の8時間(2週間)の実践～

- ・ 小学校で学んだことを生かした授業
- ①出会いのアンケート②英語での挨拶③自己紹介ゲーム(友だちとのふれ合い)④数や色のビンゴ⑤教科書を使い身の回りの物を英語で言う
- ～その後の指導(1学期)～
- ・ 3年生の(特別に英語が得意ではない生徒)のスピーチを映像で見せて、3年後のゴールイメージや、あこがれ、やる気をもたせる
- ・ 1学期の大きなゴール‘My Project’で、既習内容を使って自分のことを紹介し、発表する(ALTにも1対1で自分をPRし、質問も受ける)
- ～授業づくりで心がけていること～
- ・ あたたかい学級風土で安心して英語を話せる環境づくり
- ・ 4技能(読む・聞く・書く・話す)を活用してコミュニケーションを行う活動を取り入れる
- ・ 英語を使った活動を通して、人としての成長も見守る 等

研修Ⅰ・Ⅲ【講義・演習】「これからの外国語教育について ～今、小・中学校で取り組むべきこと～」

講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課 直山 木綿子 教科調査官

外国語教育が推進されるのはなぜ？

- ・ 海外は海外，日本は日本
- ・ グローバル化の必要性は限定的
- ・ 限られた一部の人々だけが海外経験を積めばよい

1980年代の日本

- ・ **グローバル化＋少子高齢化**
- ・ 国境の垣根がなく一つの世界
- ・ **グローバル化は加速し、重要性大**
- ・ **ほとんど全ての人々がグローバル化に対応できることが期待されている**
- ・ **英語のインターネットの情報は日本語の11倍**
- ★ **日本の今後の社会を見据え、海外の人々とかかわることができる人づくりが必要**

これからの日本



これからのグローバル化社会を生きる子どもたちは、世界の人々と共生していかなければなりません。

～外国語活動の成果と課題～

- 英語を使えるようになりたいという意識が高まった
- 英語に慣れ親しんでいる
- 英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとしている
- ▲ 外国語活動の指導が苦手、負担感を感じるという教師の割合が少なくない

～解決策～

- ・ 外国語に関する校内研修を実施
- ・ 校外の研修にも積極的に参加！
- ★**授業の質、向上**★

自分を表現し、社会と関わりながら人生を切り開いていく姿勢を育む

【今後の外国語教育推進に向けてのメッセージ】

● 小学校の先生にお願いしたいこと

- ・ 子どもたちと外国語を使ってやりとりを！
- ・ コミュニケーション活動の工夫
- ・ 1単元での授業設計
- ・ チーム学校としての取組
- ・ 同一中学校区の小学校で相談すること

35時間きちんと外国語活動をするのが、中学校で芽を出すことにつながります！

● 中学校の先生にお願いしたいこと

- ・ 英語で授業をすすめることを基本とする
- ・ 1単元での授業設計
- ・ 2技能以上統合したさまざまな言語活動の設定
- ・ 何ができるようになるかを生徒と共有すること
- ・ 校区小学校でどのようなことをしているか知る
- ・ 家庭学習の効果的な設定



研修Ⅱ【グループワーク】・・・2グループに分かれて交互に二つの内容の研修を行いました。

小学校外国語活動 「授業づくりのポイント」	横浜新町小学校 横浜中学校 学校教育課	田中 裕子 教諭 立仙 暁子 教諭 佃 典高 指導主事
--------------------------	---------------------------	-----------------------------------

授業づくりのポイント

- ① 育てたい児童の姿を明確にして単元のゴールの活動を設定する
- ② 単元のゴールにつながるようにスムーズなステップをふませる
- ③ 児童が自然に「〇〇したい」と思える活動になるようにする
- ④ 児童それぞれの個性(オリジナリティ)を伝え合える活動を仕組む
- ⑤ 児童どうし、指導者から児童への中間評価や振り返りをする

これができるのは、やっぱり児童を深く理解している学級担任！

単元のゴールの活動の在り方(コミュニケーション)

- 子どもどうしが関わる、やりとりのある活動であったか
- 児童が自己選択・決定できる活動であったか
- 児童が自己表現できる活動であったか、児童が「言いたくなる」活動だったか
- 児童が友だちのことを知る(気付く)活動であったか、児童が友だちに反応していたか

Hi, friends 2 Lesson 4
「Turn right. 道案内をしよう」
の演習



英語でコミュニケーション

～授業で言いたいことを簡単な英語に言いかえてみましょう～

今日は暑いですが45分間楽しく英語の授業をしましょう。

It has been hot, but let's enjoy English lesson for 45 minutes.

今日は暑いですが45分間楽しく英語の授業をしましょう。

It's hot, but let's enjoy.

子どもたちには難しい？

思い切って省略！

(その他の演習内容)

MERRIER Approachの紹介
(メリアー・アプローチ)
意味のあるメッセージ
(深い内容)を、やさしい英語で子どもたちに伝えることができる教師の英語使用のための考え方

フォニックスで発音向上

短く、簡潔なクラスルームイングリッシュでOK！

研修Ⅲ【中学校区での意見交流】・・・小・中学校で今後取り組むべきことについて話し合いました。

(意見抜粋)

- ・ 掲示物(単語や英文)は4線を意識して正しく書き、字体もそろえる
- ・ クラスルームイングリッシュについて、モデル授業や校内研修等実施する
- ・ 小・中で学習内容の共通理解をし、小学校間でも差がないような授業展開を進める
- ・ ICTの活用、使える教材作りを学校全体で取り組む
- ・ ゴールの活動のアイデアを交流する
- ・ 中学校の先生に小学校へ来てもらい、授業の交流をする 等



【受講者の感想】

- ・ 外国語活動について、単なる暗記ではなくできるだけ子どもたちに身近な生活経験の場や英語を使いたいと思える場を設定していかなければならないと思った。また、他教科等の学習とも関連させて外国語にふれる機会を増やしていきたい。
- ・ 英語の研修を受ける教師の割合が少ないということであった。一部の教師が学ぶだけでは広がりがないので学校全体として学ぶ場が必要だと感じた。